



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進医療の推進
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 岡野 友宏
編集責任者 広報委員長 高橋 浩二
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
TEL 03-3787-1151(代表)

ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

新年のご挨拶

昭和大学歯科病院 病院長 岡野 友宏

あけましておめでとうございます。

当院は昭和大学の歯学部附属病院として開院して35年余りがたちました。その間の医療技術の進歩は著しく、当院としても新たに設備を整え、また更新を行ってまいりました。口と歯・歯周組織のケア、齲蝕と歯周病の診断と治療、歯を失った部分への義歯やインプラント治療、顎や歯列の不整に対する診療、心身に問題を抱えた患者さんの歯科治療やリハビリなど、ずいぶんと進歩しました。新しい医療技術に科学的な根拠を与えることも行ってきました。同時に診療を支えるインフラの整備、例えば診療室の環境や診療用チェア・機器の整備、診療録やエックス線写真などの画像のデジタル化とその一括管理など、日頃の点検と定期的な見直し、そして更新を行ってきました。医療安全の立場から重要なことです。そして何よ

りも、ひと、医療を支える人々が心を一つにして患者さんを大切にするというところ、昭和大学建学の精神である至誠一貫に通じることを大切にしてきました。医療を取り巻く社会的な環境にも注意を払わなければなりません。私たちは政府の提案する医療政策に意見する見識を持ち合わせるべきです。医療を行うということは、このような様々な事柄に配慮しながら自身の責任を果たすということであり、ここに医療人としての決意、そして喜びがあります。

ことしも皆様にとって良い年になりますよう、心からお祈り申し上げます。



平成25年1月5日山中湖から見た富士山 撮影:岩野

耳慣れない名前の当科のご紹介をいたします。

医療技術の進歩に伴い、わが国は超高齢社会へまっしぐらです。私が歯科医師免許を取った40年以上前には歯科に訪れることがほとんどなかった重篤な全身疾患(脳梗塞、心臓病、糖尿病等々)をお持ちの方々が、巷の歯科医院にも受診するようになりました。寝たきりの方々からは往診で治療をして欲しいとの要望も増えています。

重い病気を持った方々は、治療中に事故が起きるかもしれない、と地域の歯科医院では敬遠される傾向があります。例えば脳梗塞や心筋梗塞の既往をお持ちの方々は再発予防のために血液がさらさらになる薬を飲み続けています。抜歯をすると大出血するのではないか、と危惧されるのです(実際にはそのようなことはないのですが)。多数の歯が失われてよく噛めず、柔らかいものや流動食の毎日を余儀なくされている方が少なくありません。このような方々の切なる願いとは何でしょうか？それは歯ごたえのあるおいしいものを食べることです。

「もう一度でいいからおせんべいや生野菜、漬け物をばりばりと食べてみたい。2度と生えてこない大事な歯を粗末にしすぎた」皆さん、異口同音に仰います。このような方々を適切に治療して噛み合わせを改善できると、非常に喜ばれます。太り出すことも少なくありません。歯科医師になってよかったと感ずる時です。食欲は人間に最後まで残る欲だと思えます。

このように当科は、歯科治療を行う上で何らかの特別な配慮が必要な方々の治療を地域の開業の先生方と連携して行っています。4年前に我が国に初めて誕生したユニークな科です。開業の先生が手を出しにくい、抜歯などリスクを伴いがちな治療部分をお引き受けし、それ以外は紹介元の先生にさせていただくのです。また、歯ぐきが大きく腫れて痛い、原因がよく分からない痛みに悩まされている等々、開業の先生方で手に負えない患者さんもお引き受けしています。

紹介患者さんの大部分は当科で対応可能ですが、長期の入院を要する外科手術が必要な方、

口の中の状態が込み入っていて複数の診療科の協力が必要と思われる方などには、院内の適正な科に声がけをして歯科病院の能力をあげて対応するように取りはかかります。いわば地域の先生方がお困りの「上澄み」患者さんをお引き受けしている訳です。これらの患者さんの問題を解決する度に、自分の腕が上がります。

開業の先生方にとって大切な患者さんをお引き受けするのです。適切に治療して患者さんと紹介元の双方に喜んで頂くのが我々の仕事です。最近では困った時には当科の存在を思い出していただけるようになり、患者さんの紹介が増えています。各歯科医師会の新年会などの集いに参加すると、当科に患者さんを送って下さった先生方から「おたくに頼んだ患者さんが喜んで報告に来てくれたよ。先生の科は我々開業医の駆け込み寺だね。」と言っていただける存在になれました。



今回はAED: Automated External Defibrillator (自動体外除細動器)の使用法についてのお話です。一次救命処置では胸骨圧迫、人工呼吸とともにAEDを使用します。AEDは約5年間使用可能な電池を搭載し、毎日自動でセルフテストを行い、状態をインジケーターに表示します。5年経過しているものはバッテリーの交換が必要なので、管理が必要です。AEDは2000年頃から設置され、現在は主要な駅、学校、病院などの公共施設だけでなく多くの場所で見かけるようになりました。歯科病院には現在1階総合内科待合室、2階口腔外科受付、3階西診療室受付、4階エレベーター横、5階矯正歯科入口の計5台が配備されています。必要な場合は直近のAEDを使用してください。

AEDは数社で生産され、ガイドラインに沿って改良を加え販売されています。そのため①最初に電源を入れることで音声による説明が流れる機種(電源マークは大きく表示されているのですぐに押してください。)と、②ふたを開けると自動的に電源が入る機種があります。電源が入ればそのあとはAEDの音声の指示がありますので、使い方はほぼ同じです。救助すべき人(傷病者)の胸に電極パッドを貼るとすぐに心電図の自動解析が始まり、除細動が必要かどうかを判断してくれます。解析中はノイズや体動があるとうまく解析ができないことがあるので、傷病者の体に触らないようにしましょう。解析結果が出ると除細動が必要かどうかを音声で知らせてくれます。すぐに充電が始まり、ショックボタンが点滅を始めます。除細動が必要な場合は傷病者の体に救助者の体が接触していないことを確認してショックボタンを押すようにしてください。ショックボタンを押したあとはすぐに胸骨圧迫を開始するよう指示されます。除細動の必要がない場合もすぐに胸骨圧迫を開始します。もし除細動によって意識や呼吸が戻っても、AEDを外さずに経過観察をしてください。心電図の自動解析は約2分毎に行なわれます。またAEDの中に自動解析した心電図所見、胸

骨圧迫などの処置が行われた時間などが記録されますので、一度装着したら電極をはがさず、そのまま救急車で病院に搬送してください。

傷病者の状況によっては、対処が少し変わります。水辺や雨が降っている場合、屋根の下などに移動し、電極を貼る部分の皮膚を拭いて貼ってください。鉄板などの伝導体の上で倒れている場合は移動してください。胸に薬剤のシールがある場合ははがし、可能な限りアクセサリも外してください。皮下にペースメーカーがある場合は3cm程度離れた場所に電極を貼ってください。体毛が多く電極がぴったり貼れない場合は電極を貼る部分の体毛を剃ってください。

もし目の前で誰かが倒れたとき、あなたが心肺蘇生をすることで助けられる命があります。AEDの使い方を知っていれば、突然死の多くを救うことができるのです。どうぞ毎日の通勤、通学途中にAEDの場所を確認してみてください。



口腔清掃

口腔清掃は口腔内の汚れを落とす方法そのものを指しますが、その目的と役割は、口腔疾患の予防や症状の軽減、機能低下の場合の感覚導入など診療に関することの他に、口腔の清涼感などの感覚的な満足を得られる行為です。また、口腔内の細菌数を減らすことで、肺炎や呼吸器系の病気の予防にもなります。

口腔清掃には治療としての役割と日常のケアとしての役割があります。治療にかかわる場合には病気の原因であるプラーク(歯垢)等の除去方法を、清掃用具の選択から使い方で患者さんごとに指導しています。日常の口腔清掃の場合には指導を受けた方法をセルフケアとして実施していただきます。また、口腔清掃は継続して行う事で効果が得られます。

今回は、日常行うための基本的な、口腔清掃方法をお伝えしたいと思います。

一日常における口腔清掃(セルフケア)の 具体的方法一

1) 清掃用具はきちんと管理しましょう。使用後の歯ブラシはしっかり毛束に残った汚れを流水下で水洗いしてブラシ側を上にして立てかけて乾燥させます。乾燥させることで細菌の繁殖を抑えることが出来ます。

2) 歯ブラシの清掃効果はしっかり歯ブラシが歯にあたることで向上します。汚れの残りやすく取り除きにくい歯と歯の間などは補助用具を使うと効果的です。

3) 歯がない場合や、舌苔などの除去にはスポンジブラシや少し大きめの軟かい歯ブラシまたは、専用のブラシ(舌ブラシ)などを使います。

4) 実際の方法

歯ブラシの当て方



入れ歯にも歯垢や食べ物のかすなどの汚れは付着します
入れ歯は専用ブラシで磨きます
歯磨き粉は傷がつくので使いません



スポンジブラシの使い方

- ① スポンジブラシが柄から抜けないことを確認する
- ② 湿らせてから水分を手で絞った後、ガーゼで水分をしっかり取る
- ③ 保湿剤は、だまにならないように伸ばして使用する



口蓋(上あご)の清掃



舌背(舌の上)の清掃



歯科衛生室 士長 日山 邦枝

編集後記

新しい年を迎えました。今年は巳年ですね。何と花のニッパチ組も還暦を迎える年なんですね。花のニッパチがぴんと来る人は50歳以上の方でしょうか。。。かくいう私も「少年老い易く学成り難し」「光陰矢の如し」という諺が身に滲みるようになりました。新年ですから、この話題はこの辺で打ち切りましょう。

輝かしい年とするべく、スティーブ・ジョブズの次の言葉をご紹介します。「昔を振り返るのはここでやめなしよう。大切なのは明日何が起きるかだ。」

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

(K.T)